

CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE-運用(建築)2019年版、名古屋市中区環境局環境政策推進課マニュアル2019 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP名古屋守山プロジェクト	階数	地上4F・地下0F
建設地	名古屋市中区守山大字中志段味字下定納80番、80番2 (名古屋市中志段味特定地区商業地109街区1番の一部)	構造	S造
用途地域	第二種住居地域・準工業地域・準防火地域	平均居住人員	350 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年1月29日
敷地面積	25,713 m ²	作成者	
建築面積	12,674 m ²	確認日	2021年1月29日
延床面積	43,656 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE1.9 ★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C	★☆☆ 100%超 ☆☆☆ 100% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 60% ☆☆☆ 30% 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.7	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		
名古屋市中区守山に計画された物流倉庫である。広大な敷地にも関わらず積極的に緑地を設け、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。		
その他		
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い外装材や内装材、配管材を採用し、建物の長寿命化に配慮する。 ・十分な階高を確保し、空間の対応性・更新性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・広大な敷地の外周部を積極的に緑化するとともに、既存緑地や樹木を保存し、生物環境の保全と創出に配慮する。
LR1 エネルギー ・LED照明等の採用により、エネルギー使用量削減に配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・節水効果のある水栓等を採用し、水資源保護に配慮する。 ・リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・燃焼設備を使用せず、大気汚染防止に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

GLP名古屋守山プロジェクト

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル:

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				4.2
LR1	エネルギー	4.4	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.118471915	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.011847192	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.059235958	
3. 循環型社会				3.7
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.9	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 4.2



2. 自然共生

評価点 = 2.6



3. 循環型社会

評価点 = 3.7



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。